

令和5年の抱負

看護部長

すみた めぐみ
炭田 恵



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

今年も皆さまにとって健やかで実り多い年でありますよう祈念いたします。

新型コロナウイルス感染症発症から4年目を迎えようとしています。昨年は第6～7波を経験し、ピーク時には多くの職員が出勤停止となり救急や入院を制限して対応し「病院として当たり前と考える機能は、当たり前ではない」ことを痛感いたしました。「With コロナ」と言われますが、医療現場はまだまだ様々なことが制限下にあります。早期の収束を願いつつ、今年も地域の医療状況を見極め、臨機応変に対応できるよう努めてまいります。

さて、ある日の当院の光景です。その日の実習を終えようとする看護学生さんが担当患者さんに終わりのあいさつをしました。「今日も素敵な時間を一緒に過ごして下さいありがとうございました。明日もまた来ますのでよろしくお願いいたします」と目線を合わせ、手を添え、優しい言葉がけでお伝えしたそうです。患者さんはもちろん嬉しそうに素敵な笑顔で「こちらこそ、明日も待ってるわ」と話されました。そばにいた看護スタッフは素晴らしい関わりに感激し自分の心も温かくなったと話しました。この関わりは、看護学生が「ユマニチュード」の技法を用いています。

ユマニチュード (Humanitude) とは、イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティの二人によって作り出された知覚・感覚・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法です。「見る」「話す」「触れる」「立つ」という人間の持つ特性に働きかけることによって、ケアを行う人は常に「あなたは大切な存在です」「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを、ケアを必要とする人に発信し続けることが重要で、それによって人は自分が唯一の存在として、自分が尊重されていると感ずることが出来ます。

今年の看護部は、人と人との関わりを大切にし、この「ユマニチュード」について学習を深め、あたたかい心のこもった看護の提供に努めてまいります。



ユマニチュードの基本的な概念



引用文献

- 1) 本多美和子・イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティ：ユマニチュード入門、医学書院、2014.8.15 第1版第4刷

＜健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受け付けています＞

待ち時間が少なく、スムーズに受診できます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9：00～16：00）

FAX 0120-935-631

当院では24時間救急患者様の受け入れを行っております。症状を自覚した時は、我慢をせず、速やかな受診をお勧めします。

発熱等の症状のある方は、まずは電話で連絡をお願いいたします。

電話 0765-22-1280（病院代表）